

# 八中3年人権だより

徳島市 八万中学校  
3年生 第17号  
2024年10月24日  
編集・文 吉成正士

(16号からのつづき)

## 自然と自分の意見が生まれる

■私は今回の人権学習で、よりこの学年で人権というものを身近に感じることができました。今回は進路などの話をする人も多くて、すごく共感することもあったし、同じ学年の子でも全然知らなかったことがあって、それを話してくれて、直接話したわけじゃないけど、仲良くなれた気がしました。

また、同じ班だった柳本さんが、人権学習をどう伝えるかという質問に、人と関わるのが好きになれると言っていて、人権学習をしてきた私でも少しあった、「人権学習に対する堅苦しさがなくなった気がして、すごいなと思いました。小松さんは、人権学習で学んだことをリレーみたいにとんどん周りの人に伝えたいと言っていて、すごく共感しました。

今回、この全体学習の前に配られた質問の内容が難しくって言語化できなかったけど、みんなの意見を聞いていたら自然と自分の意見も生まれたので、意見を交換することは大切だと思いました。 1組ON

同じ悩みや進路のことについて、語り合ってください。そうすることで、少し気分がほぐれます。解決はしなくても、そんな心持ちになることが大切なのです。悩んだり苦しんでるのは、自分だけじゃない。そう思えることが、「集団の力」なのです。それが、「受験は団体戦」と言われるゆえんです。本番はこれからです。



それから、周りのみんなの意見を聞いているうちに、分からないことが少しずつ分かってくるということはあるものです。それは、自分の中にある閉じられていた扉が、少しずつ開いていくような感覚です。新しい扉が開くと、新しい世界が目の前に広がります。それは相手側にとっても同じです。あなたの扉が開くと、周りのみんなにとっても世界は広がるのです。互いにとってプラスです。これからも意見交換することを惜しまないでください。

## もっと素敵な社会になる

■私は今回の人権学習を終えて、人と仲良くしたり関わっていくために、人権学習はとても大切なものなんだと思いました。人権学習を通して人のあたたかみを知って、人とかかわりを好きになることで、もっと人権学習自体も好きになる。そしてそれを周りの人に伝えていく。それが続いていくことで、もっと素敵な社会になっていくんだろうなと思いました。そうしていくにはまず、自分が語ることができるようにしなければならないと思いました。そのためには、たくさんの知識や伝えたいという心がとても大事になっていくと思います。そういったものを持てるように、人権をこれからも学び伝え、語っていきたいです。 1組TH

この感想と似たような発言がありました。

2番の質問ともかぶるんですけど、勝子さんのように僕の悩みは学校でおったら友達関係とか勉強のこととかで悩んで。家でおったら、家の事情で家事とかを、僕も手伝おうと思ったら手伝うんですけど、でも手伝いすぎたら自分のことができなくて、勉強もできないし、好きなこともできないし。だから踏ん切りが難しく、それが悩みというか、気がかりみたいな感じなんですけど。

でも今のみんなの発表を聞いてたら、友達の悩みはしっかり聞いてあげて、相談に乗ってあげたり、悩みは認めてあげたりと言っていて。みんなが友達の悩みを聞いてあげるとか、そういう考えを持ってくれているのがいいなと思って。だから人権学習のいいところって、さっきの人のあたたかさを伝えられるっていうのと僕も思うし、周りのみんなの意見を聞いて自分ももっと頑張ろうと思えるところだと思います。 2組SH



「勉強しなさい！」と言われて気分よく勉強できる人がどれだけいるでしょうか。言われると多くの人が気分が悪くなります。でも、「みんなで語り合う人権学習」をしていると、放っておいても勉強をするようになります。人権学習が点を上げてくれるわけではありません。「みんなの意見を聞いて自分ももっと頑張ろうと思える」から、結果として勉強をするようになるし、点も上がるわけです。これまでずっと言い続けてきた、「人権学習をすれば学力が上がる」とは、こういうことなのです。

学力ではありません。スポーツでも芸術でも同じです。自発的に、「もっと頑張ろう」と思えるわけですから、自分の持っている可能性を最大限にまで引き上げ

ことができます。そんな関係性のクラス、学年、学校が良くなるのは当たり前のことです。みんながそれぞれもっている可能性を高められ、そんな互いを認め合い、リスペクトできるなら、そんな素晴らしい集団はありません。私たちがめざす社会は、そういう社会なのです。

「受験は団体戦」。八中の3年集団は強いです。あとは、このままぶれずに進んでいけるかどうかです。それが問われるのは、「これから」です。

## 自分自身を見つめるような時間

■今までで一番たくさんの意見が出た回だったと思います。正反対の意見もありました。でも、どれも納得できて新しい気づきになるくらい、今までで一番まとまりのある回だったとも思います。先に言った人のことに対して、誉め言葉とはまた違うけれど、温かい返しをしていて、とても良いなと感じました。私はこの人権学習を、「人と関わるのが好きになること」と表現していたのがすごく好きです。私も新しく出会う人に伝えることができたら、その人がさらに別の人に伝えられるように、その輪が広がりに少しずつでも社会の意識が変わるくらいに努力していきたいです。

そしてもう一つ。私は、「自分たちにとってもう一回ないような学習」という発言に、本当にその通りだと共感しました。周りには自分の意見をはっきりとめて、堂々と伝え合うことができる人がたくさんいたこと、主に学年で語り合うことが中心だったけれど、自分自身を見つめるような時間でもあったこと、そしてその時間はいつも素敵な先生が先頭に立ってくれていたこと。こんな人権学習を受けられて、本当に良かったと思います。最後の全体学習も、全力で取り組みます。

6組KM



夏休みの終わりに、吹奏楽部の四国大会に行ってきました。それまでなかなか聴く機会がなかったので、最後にとの思いで聴きに行きました。本当に素敵な、涙が溢れるくらい素敵な演奏でした。私には音楽のことは分かりませんが、聴いていて迫力のある、思いのこもった、気持ちの強い演奏だったように感じました。言い換えれば、「胸を打つ演奏」でした。

演奏を聴いていて思うのは、「まるで学年全体人権学習のようだ」ということです。大勢で同じ曲を演奏していますが、演奏する人の個性も楽器もみんな違う。そしてその違いのままに、みんながそれぞれの全力を払う。そして違っているのに、音が合わさってきれいなハーモニーを奏でる。音を扱っていても、結局は個々の気持ち

がどれだけ強く向き合っているか、ということなのかなと感じました。とにかく、素晴らしい、素敵な思い出になりました。ありがとう。

私は自分一人で考えたり悩んだりすると思います。誰か友達や家族に相談したら、自分の意志じゃなくても、その人の意見に流されてしまう気がするからです。相手の意見に干渉されすぎて、本当に自分が望んでいるものが分からなくなることが一番怖いし、嫌なので、自分から相談とかあまりしなくていいです。もし誰かから自分が相談を受けた側になったときに、相手にどう寄り添うべきか考えたんですけど、さっき川上さんの意見を聞いて、悩んでいるときは言葉でしっかり伝えるっていう、自分とはまったく反対の意見だったんですけど、その言葉を聞いて、すごいめっちゃ自分とは違うけど、めっちゃ心に寄り添っている感じがして、こういう人に相談したいなって思いました。

5組HA

違った意見と出会うことは、怖ろしいことかもしれませんが。それまでの自分が揺らいでしまいますから。でも、自分とは違った意見を聞いて、ハッと気づかされて、「目からうろこ」のようになることもあるかもしれません。自分にはなかった新しい気づきのようなものです。そんな、自分にはなかった価値観との出会いが、自分の価値観を見つめ直させてくれるのであれば、それはそれで意義深いことです。物事を広い目で見るとはそういうことなのかもしれません。自分にはなかった価値観に出会うことで、自分の生き方がまるっきり変わってしまうこともあるのです。

「みんなで語り合う人権学習は、すべてを変える」

大げさに聞こえるかもしれませんが、これが今まで私に取り組んできた実感です。そんな中学生たちを数多く見てきました。立派な本や立派な授業もいいでしょう。でももっと、身近な友達と互いの思いを交わすことです。そんな人権学習の時間がどこの学校でも積み重ねていければ、人権に対する印象も関心も変わり、時代はグッと変わっていきそうに思います。

私たち3年教員団は、そんな経験を皆さんに提供できたでしょうか。少しは皆さんの未来の役に立てたでしょうか。同じ演奏が二度とないように、私たちのこの瞬間も二度とはありません。その二度と訪れることのない瞬間を、みんなで最後に、思いっきり語り合っていきたいと思います。これまでの思いが溢れて、感情がこみ上げるような、目頭が熱くなるような、そんな11月18日になればと思います。(おしまい)

